

平成 29 年度 第 1 回大阪府立労働センターの運営等に係る外部評価委員会委員から出された意見、要望等について

1. 平成 28 年度外部評価委員会での委員からの意見・要望を反映した取組み状況についてのコメント

- ギャラリーの利用拡大策としては、専用チラシを作成し大学や短大等に送付したり、芸術系コースを設置している府立高校を訪問し営業活動を実施するなど、既存の利用者以外に新たな利用者の掘り起しを積極的に図っている。
また、ギャラリー新規利用者紹介制度の導入や、茶菓子等の購入のために南館 1 階のミニコンビニで利用できる商品券の配布を行うなど、徹底した利用者サービスに努めている。
- プチ・エルの利用拡大策としては、演奏者が立ち寄り可能性の高い大阪府内の楽器店にスタインウェイピアノの魅力を掲載したプチ・エルのチラシの配架を依頼するほか、自主事業としてプチ・エルを会場にコンサートを開催し、音楽愛好家にプチ・エルの周知を図ったり、ランチたいむコンサートの演奏者には演奏後にプチ・エルの案内を行うなど、営業活動を強化していることが窺える。
- ギャラリー、プチ・エルともに、利用拡大に繋がるアイデアをいくつも出し行動に移すなど、地道な努力、意欲的に営業活動をしていることが伝わってくる。

2. 平成 28 年度取組状況等についての委員からのコメント

- 本館地下にある時間貸しの駐車場については利用が減少傾向にある。駐車料金を近隣の民間パーキングに合わせて安くする必要はないが、女性ドライバーも駐車しやすい取組、例えば車止めを設置する、駐車スペースを広くする、場内を今よりも明るくする、防犯カメラを設置し安全性を高めるなど、駐車場の質を向上させる取組も今後は必要ではないか。
- 平成 28 年度に実施したアンケート調査やモニタリングの実施結果をみると、エル・おおさか施設利用者の満足度が非常に高いことが分かる。
- ゴミの持ち帰りについては施設利用者から有料でもいいから引き取ってほしいという要望があるようだが、大阪市のごみの減量化の指導等からゴミの持ち帰りはやむを得ないと思われる。
- 自主事業のうち有料のセミナーの参加者が減少傾向にある。セミナーの受講対象者層やコンテンツの設定に難しい面もあるが、ニーズの多いセミナーを実施し、たくさんの人に参加してもらうことが望ましい。
- 共同事業体エル・プラン独自で施設改修工事を多く実施しているが、適正な経理処理を行っていることを確認した。